

企画名：ミツバチの側からみた蜂群大量死の実態をひろめるプロジェクト

個人名：後藤純子

1. 報告要旨

- ① 昨年度に引き続き、今年度もみつばちの生態と、みつばちから見た環境という観点で講座を企画し、巣箱からみた大量死を含む「だれもしらないみつばちのものがたり(旧名:A TALE OF ONE QUEEN BEE)」のお話を、復習用にお持ち帰りいただきました。230部お話を印刷し前年から持ち越しもあったので260冊配布しました。

お話を読んでみつばちの気持ちに立ち、環境をみることができる、これが私の講話の切り口です。興味深く聞いてくださった皆様に、感謝いたします。

本年は、お話の続きを書くことになり、昨年度までは悲しい終わり方をしていたものを、生き物本来の姿に沿った農法の世界を導入することで、「環境に異常がなく、あたりまえの世界」へ行って終わることになりました。

- ② 他のメディアとの連携

お話のミュージカル映画化の企画が続いていますが、予定が変わり上映は来年になりました。

ミュージカル制作と、読み聞かせの2つイベント形式で現在進行していただき、お手伝いしています。

- ③ 英訳、「A TALE OF ONE QUEEN BEE」の内容が1817字伸びました。

- ④ お話が長くなった分について、翻訳をしていただくことになりました。

- ⑤ 絵本化

2014年度内には、絵とあわせて、インターネットで読めるようにしたいと思います。

ネオニコチノイド系農薬が胎児へ与える影響を懸念しみつばちの幼虫と対比したお話「よぼうげんそく」を構想しました。

差別にも関るテーマなので、胎児幼児に与える影響については、考え続けたいと思います。

4. 成果物

1. 「だれもしらないみつばちのものがたり」(公開準備中)